

報道関係 各位

令和5年1月27日
TSUGI llc.

福井県の伝統工芸品を現代のライフスタイルに合わせて
アップデートすることを目指す「F-TRAD」プロジェクトの第二弾として、
開発商品「F-TRAD MADE」の販売を1月30日(月)より開始いたします！



「F-TRAD」とは、福井県の伝統工芸品を現代のライフスタイルに合わせてアップデートしていくことをコンセプトとしたプロジェクトです。今年度は、「**F-TRAD FOUND**」と題した「F-TRADのコンセプトを体現する商品のセレクトおよびプロモーション・販売」と、「**F-TRAD MADE**」と題した「F-TRADのコンセプトに沿う新しい商品の開発」の2つの企画を実施します。

本プロジェクトのディレクションおよびコーディネートは、福井県鯖江市を拠点に活動するローカルクリエイティブカンパニー・TSUGIが担当します。TSUGIはこれまで、「販路開拓までを念頭においた商品開発・ブランディング」を産地の中で数多く手がけながら、「支える」「作る」「売る」「醸す」という4つの強みを培ってきました。本プロジェクトにおいてもこれらのノウハウを活かしながら、商品の開発や選定、そして販路の構築やプロモーションまで、総合的にサポートをさせていただきます。



鯖江市河和田地区を拠点に商品開発やブランディングを手掛けながら、
福井のグッドプロダクトを扱うSAVA!STOREの運営も行っています。

福井県内の伝統工芸の職人×新進気鋭のデザイナーによる協働で
開発された商品「F-TRAD MADE」の販売を1月30日より開始いたします！

今年度の「F-TRAD」プロジェクトの第二弾として、福井県内の伝統工芸の職人と福井県外を拠点とするデザイナーの協働により、7つの商品が誕生しました。これらの商品を「F-TRAD MADE」と銘打ち、特設ECサイト上にて1月30日より販売を開始します。(URL: <https://f-trad.com>)

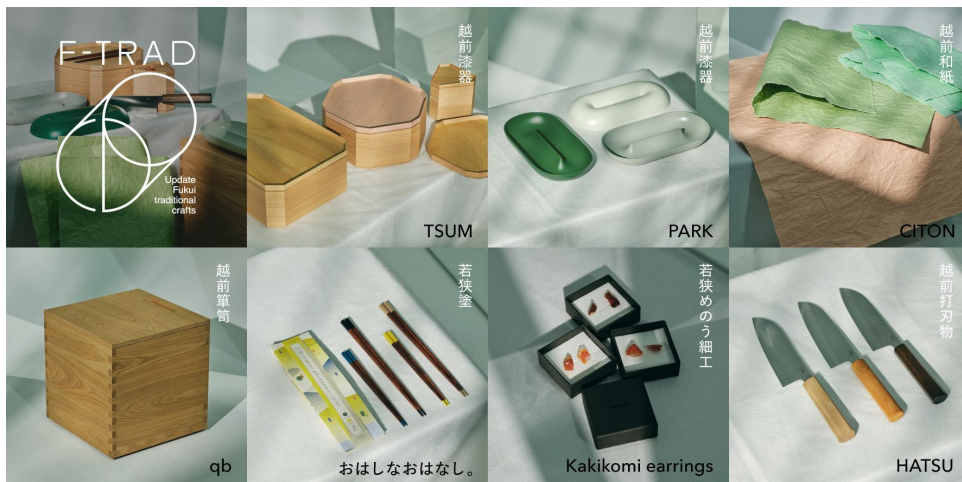
福井の伝統工芸品には、「常に変化を受け入れ、時代に合わせたものづくりを続けてきた歴史」があります。いわゆる一点ものの美術工芸品とは異なり、人々の暮らしに深く根ざした「生活のための道具」であることが、私たちが考える「福井の伝統工芸らしさ」です。今回のプロジェクトでは、そんな「福井の伝統工芸らしさ」を更にアップデートさせ、「現代の人々の生活に寄り添う商品」を作ることを目指して、計7組のチームが商品開発に取り組みました。



昨年10月に開催された中間発表会の風景

プロジェクトが始動したのは2022年8月。各チームのデザイナーは何度も産地へ足を運びながら、それぞれの工芸がもつ唯一無二の歴史と技術、そして現状や課題に向き合いました。また、職人たちにとって今回のデザイナーとの協働は、単に「商品のかたちをデザイナーに作ってもらおう」ということだけには止まらず、「デザイナーと職人がともに商品を作り上げ、ともに”その先”＝売ることまでを考える」ための機会となりました。

職人とデザイナーの双方が「この工芸を、そしてこの産地をこれからどうしていきたいか」にまで徹底的に向き合い続けた半年間を経て完成した7つの商品は、全てが「それぞれの工芸が見据える未来」を感じさせるものばかりです。ぜひ特設サイトにて各商品の特徴をじっくりご覧いただき、お買い物を楽しんでください。



[販売商品一覧]※価格等の詳細はECサイトをご覧ください。

- 越前漆器 / 高橋 亮成(高橋工芸)×石上 諒一(PUBLIC SERVICE)



「TSUM」

受け継いできた確かな技術に新しい試みを取り入れ、越前漆器の未来を紡いでいくためのプロダクト。バリエーション豊富な形やいろどりを思い思いに積み重ねながら、卓越した技術を日々の暮らしに取り入れてください。

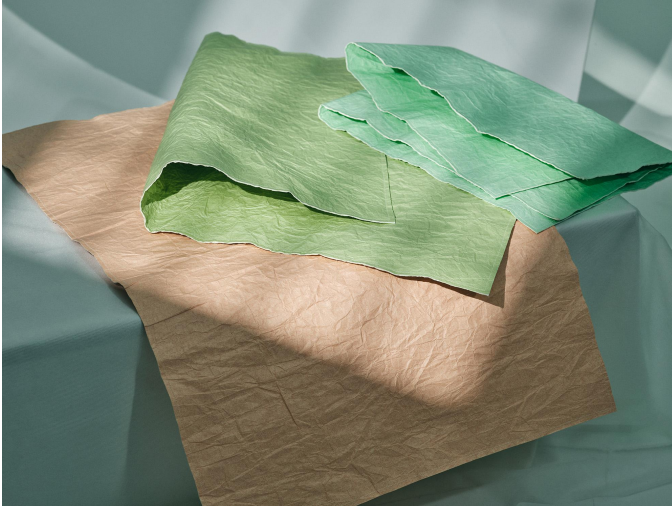
- 越前漆器 / 関坂 達弘(セキサカ)×熊谷 彰博(AK_DD)



「PARK」

越前漆器がもつ幅の広さと寛容さ、それらがもたらす「間＝あわい」から着想を得たプロダクト。使い手の創意工夫を受け止める、おおらかな器です。

- 越前和紙 / 清水 聡(清水紙工)×堀内 康広(TRUNK DESIGN)



「CITON」

和紙に特殊加工を施すことで耐久性と撥水性を高めた、土に還るソーシャルグッドなピクニックシートです。手もみ加工を施した和紙ならではの表情とやわらかさを、ぜひ屋外で楽しんでください。

- 越前打刃物 / 戸谷 祐次(Sharpening four)×江口 海里(KAIRI EGUCHI STUDIO)



「HATSU」

研ぎ師とデザイナーが考える、越前打刃物のニュースタンダード。1stラインナップとして、和包丁と洋包丁の良さを兼ね備えた、毎日の生活に寄り添う「基本の包丁」をお届けします。

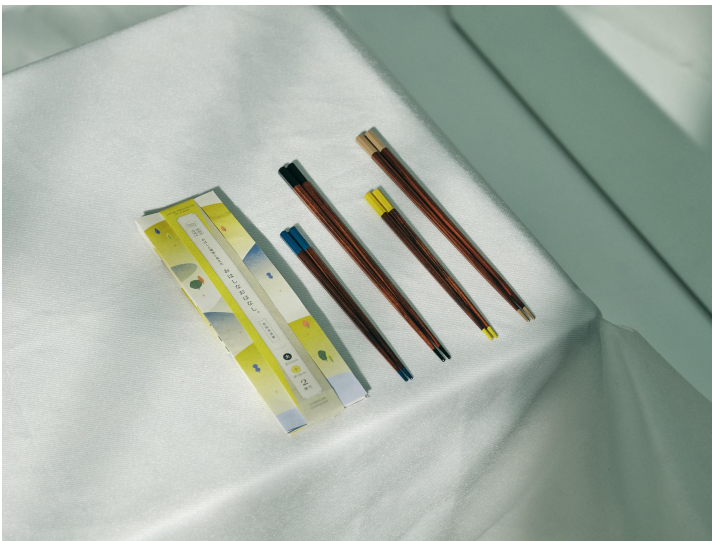
- 越前筆筒 / 山口 祐弘(ファニチャーホリック)×山下 義弘(DOCKET STORE)



「qb」

電源に人が集まる時代から、人に電源が寄り添う時代へ。ポータブル電源をすっぽりと納め、普段はサイドテーブルのようにも使うことができるqb(キューブ)は、日常生活から防災まで充電をアップデートする家具です。

- 若狭塗 / 大森 一生(スタイル・オブ・ジャパン)×山崎 伸吾(京都伝統産業ミュージアム チーフディレクター)



「おはしなおはなし。」

県産の木材と小浜の漆職人の手によって作られたお箸を、福井の風土の中で育まれた伝統と食文化のストーリーが綴られたパッケージで包装しました。家族や親子で環境や文化のことを知る・学べるお箸です。

- 若狭めのう細工 / 上西 宗一郎(宗助工房)×長砂 佐紀子(SUNA)



「Kakikomi earrings」

石の形や色を見極めながら、形をつくりあげる「若狭めのう細工」。「欠きこみ」という工程から生まれる、石のかけらの自然な美しさを、アクセサリーに仕立てました。

Credit_

プロジェクトディレクション:新山直広(TSUGI)

プロジェクトマネジメント:常松朋子/瀬戸川りさ子/(TSUGI)

アートディレクション:室谷かおり(TSUGI)

F-TRADロゴデザイン:村谷知華(TSUGI)

WEBデザイン:室谷かおり(TSUGI)

コーディング:渡利祥太(ケアン)

写真:荻野勤(Tomart -Photo Works-)

クライアント:福井県産業技術課伝統工芸室

参加クリエイター

越前漆器:「TSUM」/ 高橋 亮成(高橋工芸)×石上 諒一(PUBLIC SERVICE)

越前漆器:「PARK」/ 関坂 達弘(セキサカ)×熊谷 彰博(AK_DD)

越前和紙:「CITON」/ 清水 聡(清水紙工)×堀内 康広(TRUNK DESIGN)

越前打刃物:「HATSU」/ 戸谷 祐次(Sharpening four)×江口 海里(KAIRI EGUCHI STUDIO)

越前筆筒:「qb」/ 山口 祐弘(ファニチャーホリック)×山下 義弘(DOCKET STORE)

若狭塗:「おはしなおはなし。」/ 大森 一生(スタイル・オブ・ジャパン)×山崎 伸吾(京都伝統産業ミュージアム チーフディレクター)

若狭めのう細工:「Kakikomi earrings」/ 上西 宗一郎(宗助工房)×長砂 佐紀子(SUNA)

[実施概要]

販売開始日時: 令和5年1月30日(月)～

販売サイトURL: <https://f-trad.com>

[本リリースに関するお問合せ先]

F-TRAD事務局(TSUGI 担当 常松・瀬戸川)

TEL 0778-65-0048 / MAIL info@tsugilab.com

[TSUGI プロフィール]

TSUGI

福井県鯖江市を拠点に活動するローカルクリエイティブカンパニー。TSUGIという名前には“次”の時代に向けて、その土地の文化や技術を“継ぎ”、新たな関係性を“接ぐ”という思いが込められている。2013年に移住者たちのサークル活動として結成し、2015年に法人化。以降「創造的な産地をつくる」をビジョンに掲げ、“支える・作る・売る・醸す”をキーワードに、主に地域や地場産業のブランディングを手がける。また通常のデザインワークだけではなく、眼鏡素材を転用したアクセサリーブランド「Sur」、福井の産品を扱う行商型ショップ「SAVA!STORE」、産業観光イベント「RENEW」の運営など、「地域にとって何が大切で何が必要か」という問いに対してリサーチと実践を繰り返しながら、これからの時代に向けた創造的な産地づくりを実践している。(<https://tsugilab.com>)